

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっばんざいだんほうじんのうがくどうかしょうかく		
	制作団体名	一般財団法人能楽堂嘉祥閣		
	代表者職・氏名	代表理事 井上周久		団体ウェブサイトURL
				https://www.kashokaku.jp/
	制作団体所在地	〒 604-0866	最寄駅(バス停)	京都市営地下鉄烏丸線丸太町駅
		京都府京都市中京区西方寺町160-1		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	昭和35年 8月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表理事 井上周久 業務執行理事 井上裕之真、浦部好弘	構成員人数:155名 加入条件:加入希望者のうち代表理事の承認を得た者	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	井上由記子、吉田麻衣
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	井川正隆(税理士)
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:mai-monchan@s6.dion.ne.jp">mai-monchan@s6.dion.ne.jp</a>		0759325066


制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>大正14年(1925年) 9代目井上嘉介により、旧嘉祥閣舞台を建設。  昭和35年(1960年) 財団法人 松声会 設立。  昭和36年(1961年) 第二次世界大戦の強制疎開によって失った舞台を、能楽堂「嘉祥閣」として再建。  平成25年(2013年) 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣に改称し、能楽の育成、普及および発展などを目指した事業を行う。</p> <p>当財団代表理事を務める当代11代目井上裕久は、京都で活動している能楽師が加入する京都能楽会の理事長、また全国の能楽師が加入する能楽協会の本部理事も務め、京都は勿論のこと全国にて能楽の普及および発展の為に活動しています。加えて、京都市観光協会理事として、能楽のみならず日本文化の存続と普及、国際交流にも携わっています。</p>
	学校等における公演実績	<p>50年以上に亘り、年間複数回の公演と、学校へのワークショップ等多数実施。</p> <p>平成30年度 自主公演5回、学校公演 10校  令和元年度 自主公演5回、学校公演 6校  令和2年度 自主公演4回、学校公演 5校  令和3年度 自主公演11回、学校公演 5校  令和4年度 自主公演4回、学校公演8校  令和5年度 自主公演5回、学校公演 6校  令和6年度 自主公演5回、学校公演 9校  令和7年度 自主公演5回、学校公演 12校</p>
	特別支援学校等における公演実績	平成29年 学校公演1校

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	能「船辨慶」(限定公開) <a href="https://youtu.be/q66ha3nteLM?si=-5ZW8B3M2S1SExQV">https://youtu.be/q66ha3nteLM?si=-5ZW8B3M2S1SExQV</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添

なし

【公演団体名 一般財団法人能楽堂嘉祥閣 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
		小学生(高学年)	○	中学生	○
	企画名	日本の文化を体験！ 演者の一員に!? 能「船辨慶」と狂言「柿山伏」			
	企画のねらい	今回の体験、鑑賞、また一員として舞台上上がる経験により、日本の文化の豊かさに触れ、能楽だけでなく、様々な日本文化に興味を持つ第一歩となることを目的とします。 日本には、能楽だけでなく、世界に誇る文化が世界でも一番とっていいほど、多々存在します。 大人になる流れの中で、能楽などの伝統文化の鑑賞だけでなく、多々ある日本文化にいろいろな形で関わり、守っていく1人になってもらえることを目標としています。守り方というのはそれぞれの立場で違ってきますが、今回の企画を通して、そんな思いを持ってもらえると、信じています。			
	演目概要・演目選択理由	【演目概要】◇狂言「柿山伏」…山伏は空腹のあまり柿の木に登り実を食べます。それを見た木の持ち主が山伏をからかうと、山伏は木から落ち…。◇能「船辨慶」…源義経は頼朝と仲違いし、西へ向かう途中大物の浦の宿に泊まり、静は帰京することに…。別れの宴では静が舞い、涙します。船を漕ぎ出す一行に、平知盛の怨霊が襲いかかり、義経は刀で応戦、辨慶が神仏に祈り、やがて悪霊は退散します。  【演目選択理由】◇「柿山伏」…教科書にも掲載され物語も分かりやすく、楽しく笑いながら鑑賞できる。◇「船辨慶」…登場人物が多く、長刀や太刀を使う派手な演目で、義経・辨慶と馴染み深い登場人物であることから物語がわかりやすく、また能のもつ 静と動、どちらの舞も存在し、楽しく鑑賞できる。			
	児童・生徒の参加または体験の形態	1) 校歌を斉唱してもらうなか、囃子を打ち、謡・囃子を身近に感じてもらう 2) 代表者に舞台上で仕舞の発表をしていただき、全生徒もフロアで謡を謡い振り返りを行う 3) 鼓の体験をエアードラムで行うなか「三番三」が始まり、一曲を通して共演者として演奏してもらう 4) 「船辨慶」の子方を、装束を着て演者の一人として代表者に演じてもらう			
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	～500名(登壇して共演するのは10名強)	
			鑑賞人数目安	～500名	
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	能「船辨慶」と狂言「柿山伏」 【1部】1) 始まりのご挨拶と話 5分 2) 狂言「柿山伏」実演 15分 3) 囃子「獅子」実演 5分 4) 囃子のリズムに合わせて校歌斉唱 5分 5) 囃子の説明と小鼓体験 8分 6) 狂言「三番三(さんばそう)」実演 7分 --- 休憩5分 --- 【2部】1) 舞発表 7分 2) 能「船辨慶」実演 28分 3) 質問と終わりのご挨拶 10分			
					↑ 能「船辨慶」イメージ
公演時間		90	分		

紅色の装束を着ているのが子方です。代表者には同じような装束を着て、子方役をとりもていただきます。

出演者	◆シテ方:井上裕久※令和8年1月1日より井上嘉介(井上周久)、井上裕之真、吉浪壽晃、寺澤幸祐、浦部幸裕、味方團、松井美樹、吉田篤史、松野浩行、宮本茂樹、鷲尾世志子、河村浩太郎、樹下千慧、藤井丈雄、笠田祐樹、寺澤拓海、橋本充基、吉田和史より10名、 ◆ワキ方:岡充、有松遼一、原陸より2名 ◆笛方:森田保美、左鴻泰弘より1名 ◆小鼓方:久田陽春子、林大輝より1名 ◆大鼓方:石井景之 ◆太鼓方:井上敬介 ◆狂言方:茂山千五郎、茂山茂、茂山逸平、茂山千之丞、島田洋海、井口竜也、鈴木実、山下守之より2名 (※__は重要無形文化財保持者(総合認定))					
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	■井上裕久※令和8年1月1日より井上嘉介(井上周久)(後見、又は地頭):1955年生、観世流職分、11代井上家当主(公益社団法人)能楽協会 理事、(公益社団法人)京都観世会 専務理事、(一般財団法人)能楽堂 嘉祥閣 代表理事、(一般社団法人)京都能楽会 理事長、なお令和8年1月1日より家の名跡、井上嘉介に改名 ■石井景之(大鼓):1964年生、石井流13世宗家、(一般社団法人)京都能楽会 理事 ■井上裕之真(シテ):1991年生、観世流準職分、井上裕久嫡男、(一般財団法人)能楽堂嘉祥閣 業務執行理事					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 18 名 スタッフ: 0 名 合 計: 18 名		運搬		積載量: 1.5 t 車 長: 11.5 m 台 数: 1 台	
本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間	
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出
	12:00	12:00-13:00	13:30-15:05	5分	15:05-16:00	16:00
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。					
本公演 実施可能日数 目安  ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月	
	15日		15日		10日	
	10月		11月		12月	
	15日		15日		11日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計		104日	

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載してください。

① 公演イメージステージ上



(ステージが約5m×10m以上ある場合はステージを使用)

② 公演イメージフロア上



(フロア上に舞台を設営する場合は約8m×10m以上の広さが必要)

※実際の能舞台には五色の幕や橋掛かり・松があり、正面には老松、脇には竹が描かれ、柱が立てられています。

私達の公演ではステージ上(ステージがない場合には体育館のフロア上)にその全てを作り、能舞台の雰囲気を感じていただこうと思います。

具体的には、松や竹の鏡板や五色の幕を目立たせ、周りに暗幕を張り、舞台左側の欄干際の松を立てるなど、より能舞台の雰囲気を感じていただきやすいよう工夫しています。

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当あり	該当コンテンツ名	ワークショップ時に配るあらすじコミック
	該当事項がある場合	権利者名	あらすじコミック: 星亜紀子	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。



別添

なし

【公演団体名

一般財団法人能楽堂嘉祥閣

】

ワークショップの  
ねらい

児童・生徒にとつての初めて出会う能楽が難しく感じないよう、話を極力短くし、装束や面を間近で見てもらう、手に取ってもらなど、まずはビジュアルから興味を持ってもらえるようにします。

そうすることにより、より深く学習しようという意欲を膨らませます。特に、先生に装束をつけたり、代表者5名程度に面をつけることで、より興味や関心を持ってもらえると思います。

また、本公演と連動させ、ワークショップ時に稽古した事を本公演にて発表してもらうことにより、本公演時に、より楽しかったと思ってもらえるようにします。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

～500名

ワークショップ  
実施形態及び内容

標準:90分

## ①装束付け(30分)

学校の先生に本公演で行う「船辨慶」のシテの装束を着付けながら能楽について解説も同時に行います。

## ②能の配役と様々な面についての話(15分)

能の囃子や狂言など、様々な配役について、写真等を用いて、知ってもらい、また代表的な面を見せ、児童・生徒たちに面をつけていきます。

(休憩)

## ③謡稽古「船辨慶」(15分)

本公演で児童・生徒全員に謡ってもらい「船辨慶」を稽古します。

## ④仕舞「船辨慶」(5分)

児童・生徒全員に先で稽古した船辨慶を謡ってもらい、引き続き、そのまま船辨慶を演じるのを、ご覧いただきます。

## ⑤舞の稽古「船辨慶」(25分)

本公演で発表してもらい「船辨慶」を児童・生徒全員で、まずは扇の持ち方、歩き方から稽古します。

※船辨慶に子方として本公演に出演する児童・生徒は、休憩後に、別途船辨慶の稽古をします。

ワークショップの内容

その他ワークショップに  
関する特記事項等

本公演で実演する「船辨慶」のあらすじをより理解しやすいように、  
ワークショップ時にあらすじコミックを配布します



※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般財団法人能楽堂嘉祥閣 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		0 A以上	
舞台設置面積	間口	10 m		奥行	7 m		
	高さ	2 m					
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応		可	
搬入間口の広さ	幅	1.5 m		高さ	2 m		
遮光の要否	不要		緞帳の要否			なくてもよい	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			要	
搬入車両(トラック等)の横づけ	特に必要なし		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			-	m以内
搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台			
搬入車両の大きさ	車幅	1.7 m		車長	4.5 m		
備考	トラックのサイズについては、一般的な2tトラック(ショートタイプ)のサイズを記載しています。						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

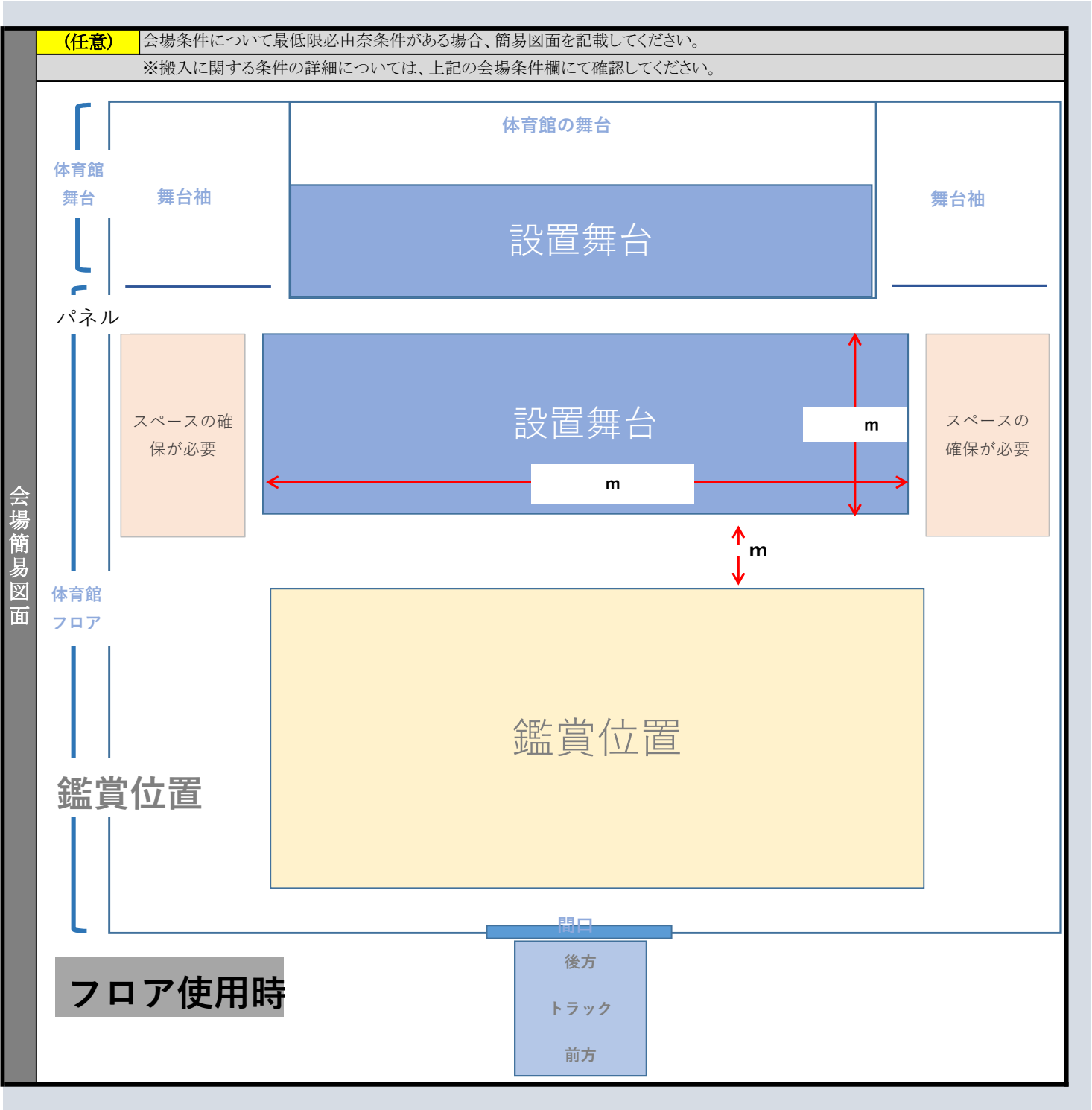
学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	60分程度	ワークショップ実施時間外において各自(休み時間や自宅での個人稽古等を想定)	セリフ、型の予習	台本と練習用動画を準備しますので各自予習しておいてください
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	・セリフ、型の練習:60分程度 ・仕舞発表の為の練習:30分程度	本公演実施時間前において各自(休み時間や自宅での個人稽古等を想定)	・セリフ、型の練習 ・仕舞発表の為の練習	・セリフ、型:台本と練習用動画を準備しますので各自練習しておいてください ・仕舞:ワークショップで体験した仕舞を各自練習しておいてください
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	15分程度	本公演当日、公演実施前	共演部分のリハーサル	共演をおこなう代表の児童・生徒に参加していただきます

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	ステージ使用時にステージ上にピアノがある場合は隅に移動させてください	
	2	搬入には中型トラック相当の車輛を利用します	
	3		





別添

なし

【公演団体名

一般財団法人能楽堂嘉祥閣

】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

本事業への応募理由等

## 【本事業を通じて実現したいこと】

700年の歴史をもつ世界最古の芸能「能楽」は、世界最古の演劇で、ユネスコ文化遺産に登録されている世界から高い評価を受けている伝統芸能です。平成29年度告示の小学校・中学校学習指導要領において「我が国の郷土の伝統と文化の尊重」について述べられているように、近年日本の学校教育の現場にて伝統芸能に対する教育が重視され、文化的な側面だけでなく、伝統芸能がもつ教育的な価値がますます注目されています。しかし一方で、長い時間の中で“極みの美”として様式化されたため、とりわけ子供達にとっては、分かりづらいもの、敷居の高いものとなっていることも事実。分かりづらいことは、無関心を生んでしまいます。

能楽は、そもそも当時の民衆の娯楽として、また日々の生活の中で起こる思いや感情を表現する手段として相互補完的に発展してきた、大衆芸能です。そこには、現代の人々にも十分に理解できる、生活にまつわるエンターテインメントが底流しています。また能楽はその様式化の過程で、演者の所作や舞台は敢えて簡素化し、観る人の想像力を借りることで成立する芸能として発展してきました。能楽には、観る人の想像力を刺激するクリエイティビティが仕掛けられています。

私ども能楽堂嘉祥閣は、本事業を、子供達が日本の伝統芸能に関心を持ち、理解するきっかけの場として認識しています。その為に、質の高い能楽の実演・鑑賞体験の提供に加え、鑑賞体験をより深いものへと昇華し、能楽の世界観をよりリアルに感じる事の出来るよう、気づきのプログラムを重視します。能楽は、当時の民衆が日々の暮らしを遅く生活していくための知恵として創り出した物語や表現です。これらの物語や表現の様式を現代的なツールを使用して学習・体験する事は、想像力豊かな子供達にとっては、多様な能楽観が生まれ、そこに伝統芸能の未来に対する様々な可能性が生まれると考えます。

そして子供達に、より豊かな感性を育んでいただく為、特に演者との共演機会をできうる限り増やし、一演目を通して全員で演奏したりし、芸術鑑賞能力の向上を図ります。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

## ①あらすじコミックと詞章の準備

演目の内容をより理解してもらうため、あらすじコミックを作成しワークショップ時に配布します。また、本公演では、他の演劇でいう台本にあたる詞章を本事業のためだけに作成、配布します。

## ②様々な共演体験

校歌に合わせて囃子を行う、小鼓体験 の2つは、全員で体験、共演してもらいます。また、代表者の仕舞発表時には、他の児童全員が、謡を謡います。さらに児童・生徒に興味を持ってもらえるよう、子方として代表の児童・生徒に演者の一員としてメインの演能に加わってもらいます。

## 【学校との連絡調整について】

①電話連絡 事前に電話で、実施校に連絡し、まずは実施日や担当者の変更やメルアドなどに間違いがないか、確認します。特に、学校から前もっての連絡事項などあった時には、その件について、詳しく回答します。

②メール連絡 随時、メールなどでワークショップ時の場所、持ち物等に間違いがないか確認し、特に、あらすじコミックをワークショップ時にお配りしてほしいので、添付資料として送付し、印刷・配布のお願いをします。本公演にも、前もってプログラムを添付し、本公演における様々な事について、メールや電話で連絡を行い、コミュニケーションを図って、信頼関係を築きます。

③緊急事態 各感染症の流行など、イレギュラーな事案については、即ち事務局に共有し、そのイレギュラーな事案を受け、どう対応するか決定し、できる限り、中止にならないよう、順延などで行えるよう、模索します。

事業を適切かつ  
円滑に実施するための  
工夫

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

代表の児童・生徒が自信をもって舞台に立てるよう、3つの動画を作成しそれぞれを見て練習してもらえるように準備します。

- ・能「船辨慶」(本公演でおこなう演能の流れをつかんでもらう)  
<https://youtu.be/q66ha3nteLM?si=-5ZW8B3M2S1SExQV>
- ・「船辨慶」の舞の解説(型の練習をしてもらう)  
[https://youtu.be/sQnRPNmhIXk?si=Ca2\\_SvS8UM8Q0xgJ](https://youtu.be/sQnRPNmhIXk?si=Ca2_SvS8UM8Q0xgJ)
- ・「船辨慶」の謡の稽古(子方のセリフを練習してもらう)  
<https://youtu.be/kGLRMHW5ULU?si=QR7fWLAymSCGVyGx>

また、事前に学校の意向を必ずお聞きして、例えば大きな音が苦手な児童・生徒への配慮や、別室でのリモートの鑑賞・参加など、実施校と綿密に連絡を取り、柔軟に行います。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

当会のHPにもリンクを貼っていますが、ブログを公開しており、ワークショップ、本公演共に、毎回アップしています。その中で、コメント欄も同じく公開しており、常に、そのワークショップや本公演時に感じられた質問や感想を書いていただけるようにしてあり、コメントがあれば、お答えしています。

勿論、本公演鑑賞後だけでなく、5年後であってさえ、コメントがあれば、お答えします。

また更に、継続的に学んでいただけるよう、他催しでの写真なども公開し、能の雰囲気味わってもらえるようにしています。

参照URL: <https://ameblo.jp/kashokaku/> (一般財団法人能楽堂嘉祥閣のブログ)